

快適商空間の創造を目指して



宮崎 建男 (みやざき たてお)

富士電機リテイルシステムズ株式会社
取締役社長

新年明けましておめでとうございます。

富士電機リテイルシステムズ株式会社は、お客様に最大の満足を提供する企業を目指し、「快適商空間の創造」をモットーに、自動販売機関連、フードサービス関連、コールドチェーン関連、通貨機器関連の製品とサービスを提供しております。

これらの製品やサービスにおいては、メーカーとしてのコストや品質はもちろんのこと、省エネルギーや環境保護など、持続可能な社会の実現とともにお客様を通してより良い社会を構築する一員として技術力の向上と製品の開発に注力してまいりました。

業界トップシェアを持つ自動販売機は、国内市場はすでに成熟しており、量から質への転換を推進しております。当社は、自動販売機をお客様商品の進化した小売り手段として、機能・品質・価格・メンテナンスサービスのいずれをとっても最高の評価をいただけるよう、多くの課題解決に取り組み、この業界における地位をより一層強固にしていきたいと考えています。一方、自動販売機の製造・販売メーカーとして環境対応への要求にも応えていく必要があります。自動販売機では、ノンフロン化技術やヒートポンプ技術などの環境対応・省エネルギー技術の開発を進めてきました。さらに、製品にかかわる資源採取から製造、実運用、廃棄に至るまで、自動販売機の全生涯を開示する仕組みを業界で初めて作り、「エコリーフ環境ラベル」を取得いたしました。また、環境対応に加えて、お客様の商品の取り扱いやすさや多種多様な商品を扱う際の安全性にも配慮した製品も開発しております。

コールドチェーン分野では、当社はSTPP（ストア・トータル・プラン・プロデュース）というコンセプトのもと、店舗の設計、内装、設備、施工から保守サービスに至る総合的な商空間ソリューションを提案させていただいております。この分野においても環境対応と同時に利便性を追求した快適な商空間を提供するための開発を進めています。エコマックスやデシカント空調システムなどの店舗の総合的な省エネルギーとランニングコストの低減を図る製品を提案するとともに、店舗建設の経済性・資源の有効利用につながる「エコロユニット」や「R-CUBE」などの製品を提案し、採用が広がっております。

通貨機器関連分野では、非接触ICカードや携帯電話を用いた電子マネーが今後も大きく拡大していくものと思われます。これらの機器の普及に伴っては、利便性の追求と同時に安全で信頼性の高い技術が要求されます。電子マネーでは当社がこれまでに培ってきたリードライト技術や決済にかかわるセキュリティ技術、通信技術を活用して共用の決済端末機器やそれに付随するサービスの開発と製品展開を進めております。

以上、事業分野ごとに近況と2008年の抱負を述べてまいりました。また、スーパーマーケットに代表されるように、当社の各事業分野の幅広い製品が使用されていることから、社内におけるコラボレーションにも注力してまいります。今後もあらゆる面においてお客様の期待にお応えし、本業を通して社会に貢献する企業を目指してまいります。

本年もよろしくご願ひ申し上げます。